

和泉市 広報9月号 小中一貫教育特集

学校統廃合のねらい隠す

広報では

今ある学校は現在の施設のま



Q 今の小学校と中学校の施設を一つに建て替えるのですか。

A いいえ。小中一貫教育といえども、現在の施設をそのまま使用して進めていきます。

ただし、・・・略・・・平成29年4月、はつが野に開校予定の新設校は小学校と中学校が一つの敷地にある「施設一体型小中一貫校」となります。

▲「広報いずみ」9月号「小中一貫教育Q&A」より

市内会議では

南松尾小・中学校は閉校 新設校に編入

南松尾地域を新校の校区に編入することは、適正規模での教育という観点から適した対応であると考えます。

しかし、南松尾校区は市合併当時から、1小1中を有した校区であり、開校百数十年を超える地域で、閉校となると反対となることも予想されます。

よって、現時点での就学区域への組み入れを表明するのではなく、教育委員会としては、学校施設面や集団教育面、また、通学方法も検討しながら、地域からの同意を得たいと考えております。

(平成25年1月22日「政策調整委員会：施設一体型小中一貫校について」資料1「施設一体型小中一貫校について」P.5より)

富秋中校区・槇尾中校区は統廃合

今後の施設一体型の小中一貫校については、小中学校の児童生徒数の減少となる地域においても検討すべき課題であると考えています。10中学校区の児童・生徒数の推移から推察すると、南松尾中学校区(南松尾小)、槇尾中学校区(槇尾中、横山小、南横山小)、富秋中学校区(富秋中、池上小、幸小)が将来的に大幅に減少してくるものと予想しており、今後は、より教育効果のある学校づくりとして、保護者、地域住民の理解が得られる施設一体型小中一貫校の建設も検討して行きたいと考えています。

(平成25年1月22日「政策調整委員会：施設一体型小中一貫校について」資料2「和泉市小中一貫教育(プロジェクトIZUMI)」P.5より)

和泉市は「広報いずみ」9月号で小中一貫教育の特集を組みました。そのなかの「小中一貫教育Q&A」で、「今の小学校と中学校の施設を一つに建て替えるのですか。」という問いに「いいえ。小中一貫教育といえども、現在の施設をそのまま使用して進めていきます。」と答えています。ところが、「和泉市の子ども

と教育を守る会」が和泉市に「施設一体型小中一貫校建設」に関する情報公開請求し公開された議事録等によると、今回広報で述べられていることは全く違うことが庁内会議で議論されていることが分かりました。公開された議事録等の資料によると「施設一体型小中一貫校」建設は、南松尾小・中学校の新設小中一貫校への統合、富秋中校区・槇尾中校区の統廃合を和

泉市は意図していることがはっきりしました。それにもかかわらず、広報では学校統廃合の計画については一切ふれず、それどころか、今ある学校は現在の施設のままでいくとまで断言しているのです。

これは、まさに和泉市民を欺くやり方であるといわざるを得ないのではないのでしょうか。

和泉市教職員対象

小中一貫教育アンケートにご協力を

泉北教組は、小中一貫教育を口実にした学校統廃合には反対しています。今後の運動の参考にするため「和泉市の小中一貫教育に関する教職員アンケート」(和泉市教職員対象)を実施することにしました。多くの教職員のみんさんからのご意見をお寄せ下さい。